

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

令和3年度を振り返って

大牟田市教育委員会
教育長 谷本 理佐

就任して11カ月が経ちました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、さまざまな制限がある中にも、「教育活動は継続する」という方針を進めてまいりました。この間、校長先生をはじめ、教職員・保護者・地域の皆さまのご意見をお聞きしながら、また、ご理解・ご協力をいただきながら、教育行政の運営を行ったところです。心より感謝申し上げます。

令和3年度は、「大牟田市小中一貫教育基本方針」の策定、学力向上プランの確実な実施、オンライン授業や家庭学習などのICT教育の推進、学校・地域が主体的に取り組むESD活動の充実、防災・減災教育の推進、夜間中学の設置検討など、本市の教育にとりましても大きな転換期となりました。来年度は、宮原中学校区において既存の学校施設を活用して、義務

教育9年間を見通した教育課程による小中一貫教育を本格的に試行します。そして、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な実施やスクールソーシャルワーカーの配置などを行うことで、児童生徒の学力の向上や心身の健全な育成、「中一ギャップ」や不登校の解消などを目指します。また、タブレット端末をより活用し、学ぶ意欲や学力の向上を図ります。さらに、特別支援教育の充実にも取り組んでまいります。

教育委員会では、「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、子どもが夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手になれるようにさまざまな取り組みを進めてまいります。引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、一人一人の命・人権が尊重され、安全で安心な学校で子どもが意欲的に学べるように全力で取り組んでまいります。市民の皆様におかれましては、今後とも本市の教育への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「ユネスコスクール子どもサミット」発表内容をビデオ収録・DVDの配布

今年度の「ユネスコスクール子どもサミット」は、1月15日に大牟田文化会館で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、予定を変更し、発表内容を学校でビデオ収録しました。

発表校のひとつである宮原中学校では、1年生4人が息の合った発表を見せてくれました。

発表の中で、「宮原坑の本当の価値は、命の危険にさらされながら働いた労働者と、それを支えた地域

や社宅の人たち、そして、宮原坑を世界遺産に登録しようと努力した人たちだと思つた。」という言葉が大変印象的でした。

収録を終えた生徒たちは、「文化会館のステージで発表できなかったのは残念だけど、練習の成果を発揮できてよかった。」と話していました。

宮原中学校を含む5校の発表を収録したDVDは、各学校に配布し、今後のESDの推進のために活用します。

子どもサミットの発表校とテーマ

- 大牟田中央小学校
「見つけよう 広げよう 私たちのまちの宝」
- 平原小学校
「平原スマイルプロジェクト～わたしたちから地域へ～」
- 駿馬小学校
「4校協働大牟田海洋教育プロジェクト
～海と人との共生 宮原坑と三池港・海とのつながり～」
- 大正小学校
「キリバスにマングローブの花をさかせよう」
- 宮原中学校
「人と時代をつなぐシンボルタワー宮原坑」



緊張しつつも、集中して収録に臨みました（宮原中学校1年生）

令和3年度 学校教育功労者表彰

この表彰は、本市の学校教育の振興に特に功績があった方に対し、教育委員会が毎年度行っているもので、今年度は17の個人・団体の方が受賞されました。

【登下校時の見守り】

相川 浩一さん
荒木 敬子さん
斉木 明美さん
窄中 祐子さん
谷口 チマ子さん
壇 美智子さん
蓮尾 晶子さん
福田 早苗さん
船津 壽朗さん

【学校評議員】

咽本 友子さん

【読書ボランティア】

松尾 祐子さん

【ゲストティーチャー】

柿原 千鶴さん

【学校医】

中島 裕典さん
吉田 美代子さん

【学校歯科医】

草野 真理子さん
平野 尚史さん

【学校薬剤師】

松尾 信吾さん

（順不同）

「海洋教育子どもサミット2022 in おおむた」を

オンラインで開催

ぶとともに、防災について地域の人たちとの交流や手作りのリーフレットを用いた情報発信を行ってきました。発表の中で、それらのことやこれから取り組んでいきたいことなどをしっかりと伝えることができました。

「海とともに生きる」子どもたちへのメッセージ

各学校の発表後に、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員の及川幸彦先生による指導助言がありました。

その中で及川先生は、

●海は美しく、さまざまな恵みをもたらしてくれるが、時に災害をもたらしこともある。海にはそのような「光と陰」の両面があることを子どもたちが学んだということが、発表の中から伝わってきた。

●ふるさとの海を大切にすることはもちろんだが、海は世界につながっていることにも思いをはせてほしい。

●大人になっても、日常の中で、海とのつながりを忘れずにいてほしい。



東京大学大学院の及川幸彦先生の指導助言



みなと小学校6年生児童の発表

などのメッセージを子どもたちに送ってくださいました。これからも子どもたちは、海とともに生きること（海との共生）について学び、自分にできることを考え、実行し、地域の人たちに海や川の価値を発信してくれることと思います。

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）